

国債市場の流動性指標[※]

<長期国債先物市場>

- 図表1：出来高と取引サイズ (volume)
- 図表2：ビッド・アスク・スプレッド (tightness)
- 図表3：板の厚み (depth)
- 図表4：価格インパクト (resiliency)

<現物国債市場>

- 図表5：ディーラー間取引高 (volume)
- 図表6：投資家等の売買動向 (volume)
- 図表7：対顧客取引のビッド・アスク・スプレッド (tightness)
- 図表8：対顧客取引の提示レート間スプレッド (depth)
- 図表9：残存年限別の提示レート間スプレッド (depth)

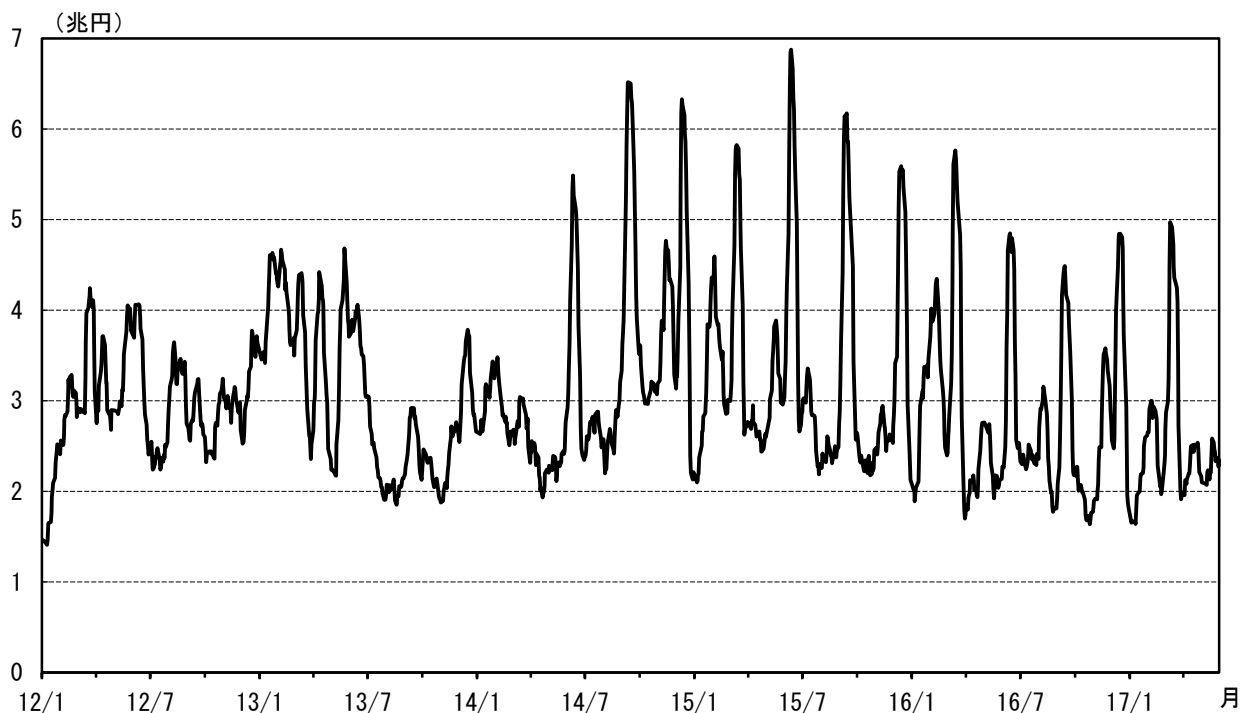
<SCレポ市場>

- 図表10：GC-SCスプレッド
- 図表11：SCレポレート

[※] 各指標の定義等については、黒崎・熊野・岡部・長野「国債市場の流動性：取引データによる検証」日本銀行ワーキングペーパーシリーズ No. 15-J-2、2015年3月を参照。

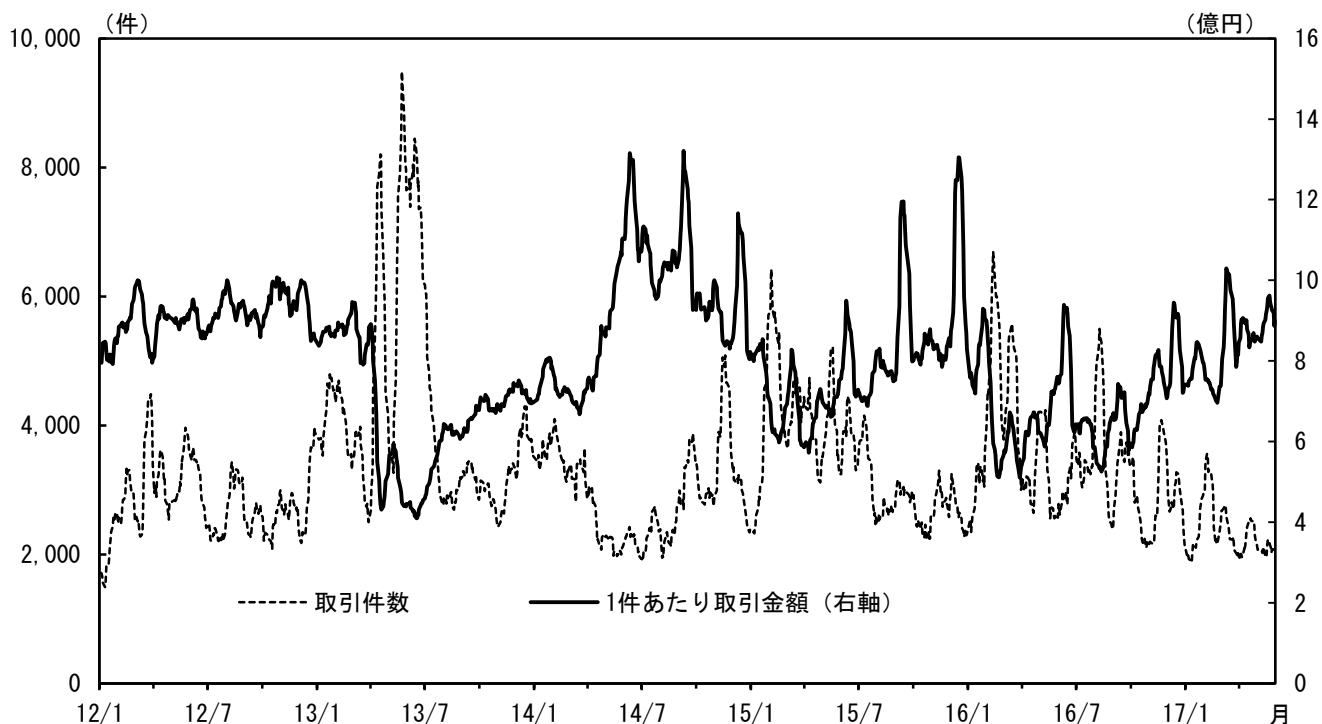
長期国債先物の出来高と取引サイズ (volume)

(1) 長国先物の出来高



(注) 後方10日移動平均。直近は5月末。
(資料) QUICK、大阪取引所

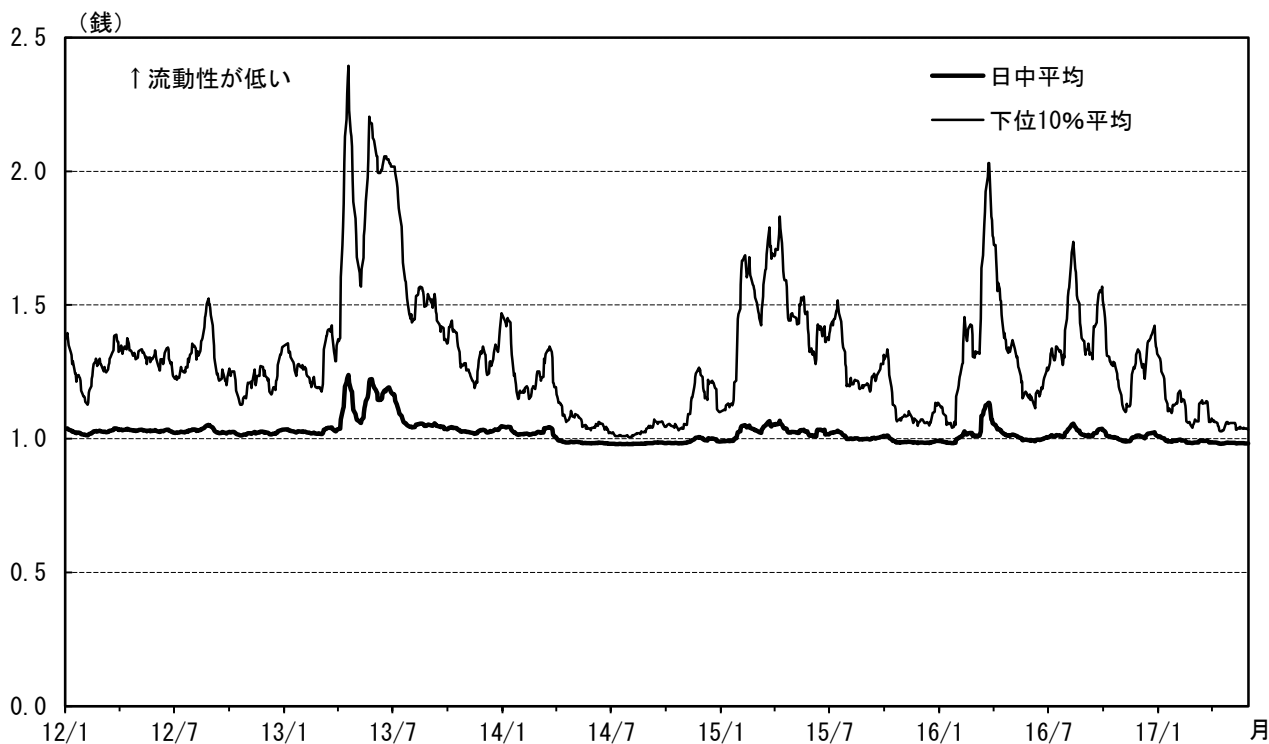
(2) 取引件数と1件当たり取引サイズ



(注) 後方10日移動平均。直近は5月末。
(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

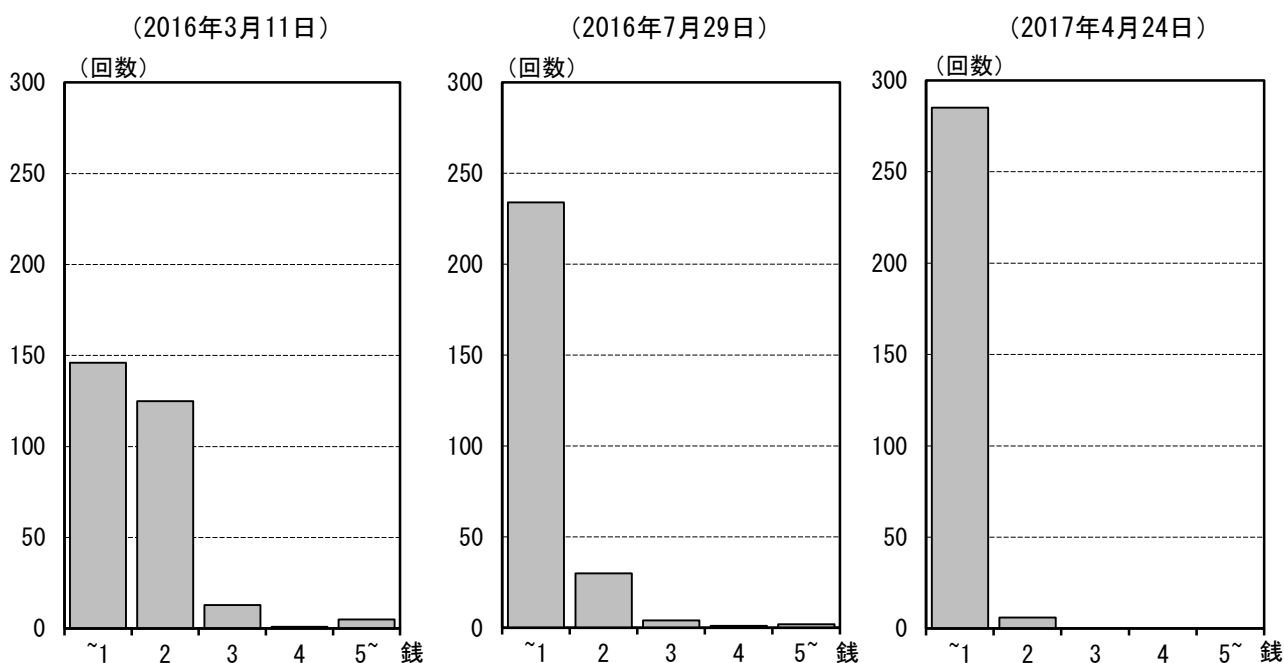
長期国債先物のビット・アスク・スプレッド (tightness)

(1) ビッド・アスク・スプレッド (1分足データの日中平均、下位10%平均)



- (注) 1. 後方10日移動平均。直近は5月末。
- 2. ビッド・アスク・スプレッドは、1分毎のスプレッドから算出。下位10%平均は、各営業日 (1分足) について、スプレッドが大きい方から10%分のデータを抽出し、平均したもの。

(2) ビッド・アスク・スプレッドの出現頻度分布 (1分足データ)



- (注) 左から順に、15年度、16年度、17年度中にビット・アスク・スプレッド (下位10%平均) が最も拡大した日。
- (資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

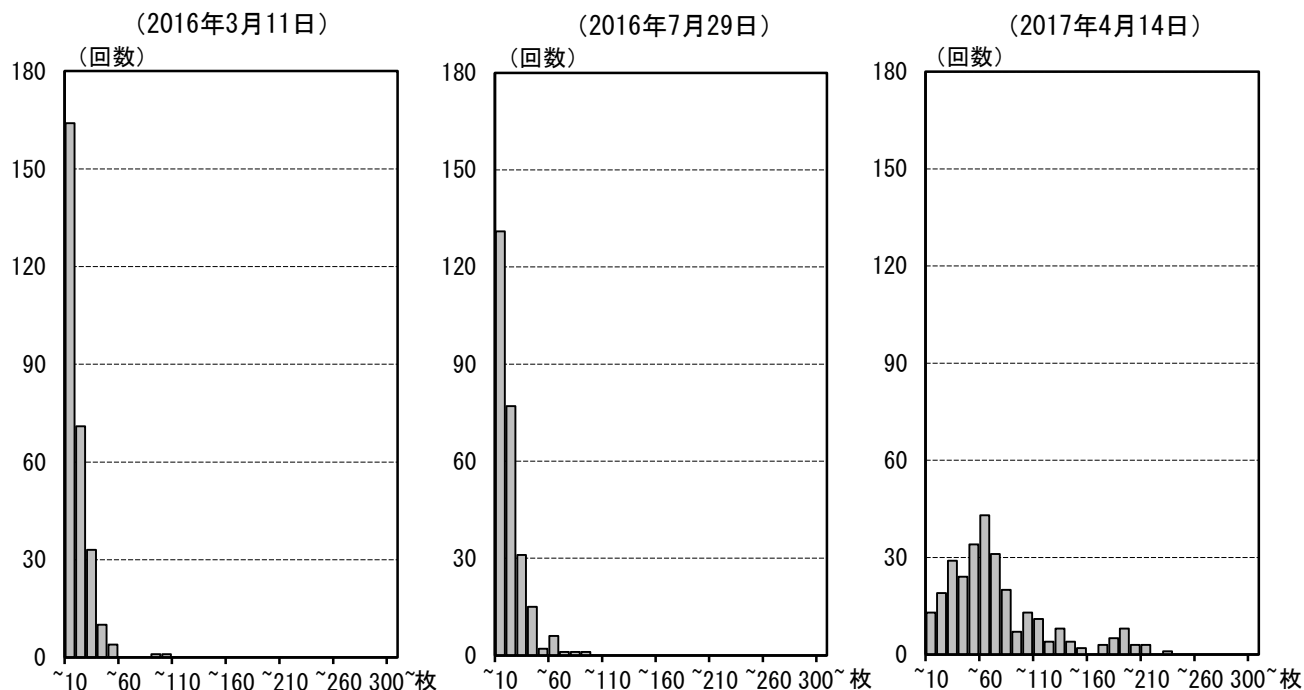
長期国債先物の板の厚み (depth)

(1) 長国先物の板の厚み (ベスト・アスク枚数)



(注) 1. 後方10日移動平均。直近は5月末。
2. 各営業日において1分毎にベスト・アスク枚数を計測し、その中央値をプロットしたもの。

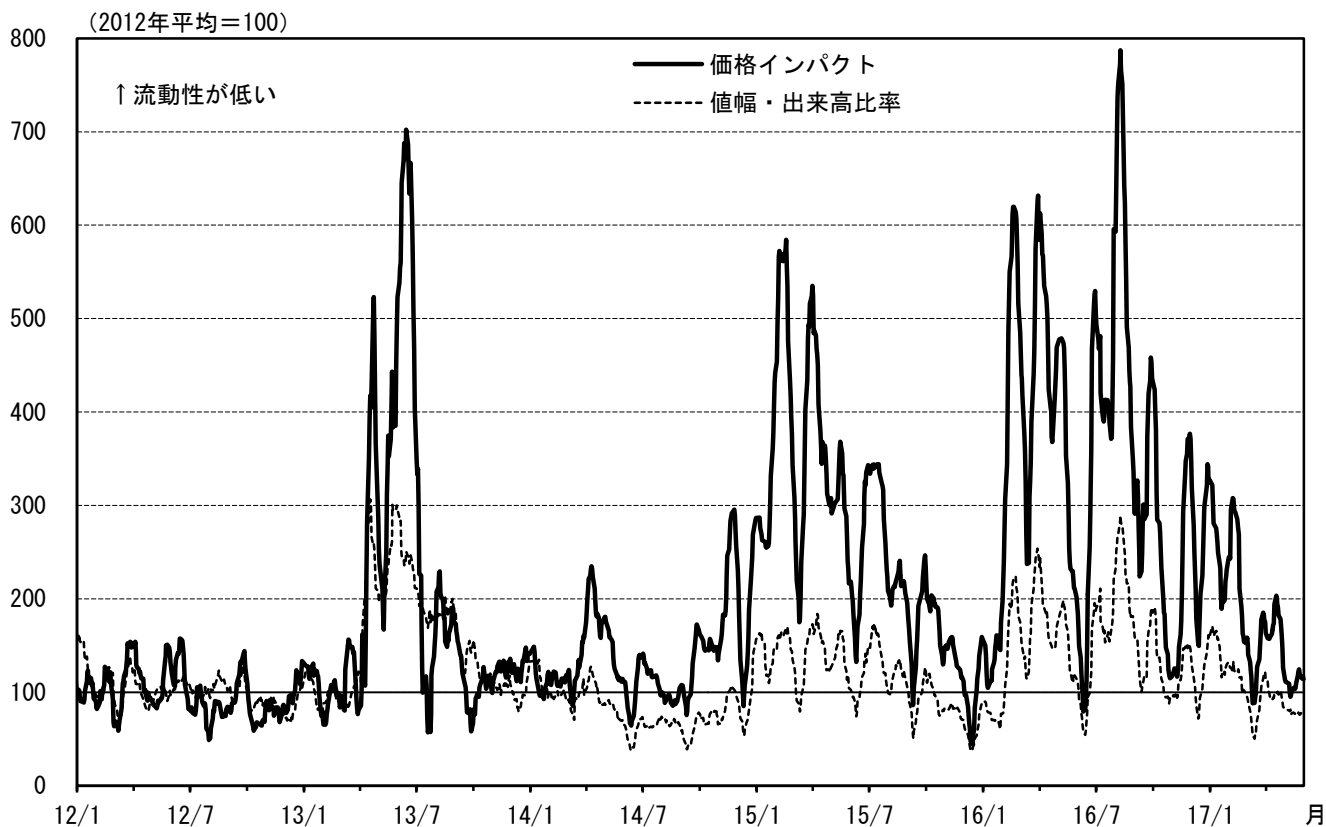
(2) ベスト・アスク枚数の出現頻度分布



(注) 1. 各営業日において1分毎にベスト・アスク枚数を計測し、その出現回数を足し上げたもの。
2. 左から順に、15年度、16年度、17年度中にベスト・アスク枚数(中央値)が最も少なかった日。

(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

長期国債先物の価格インパクト (resiliency)

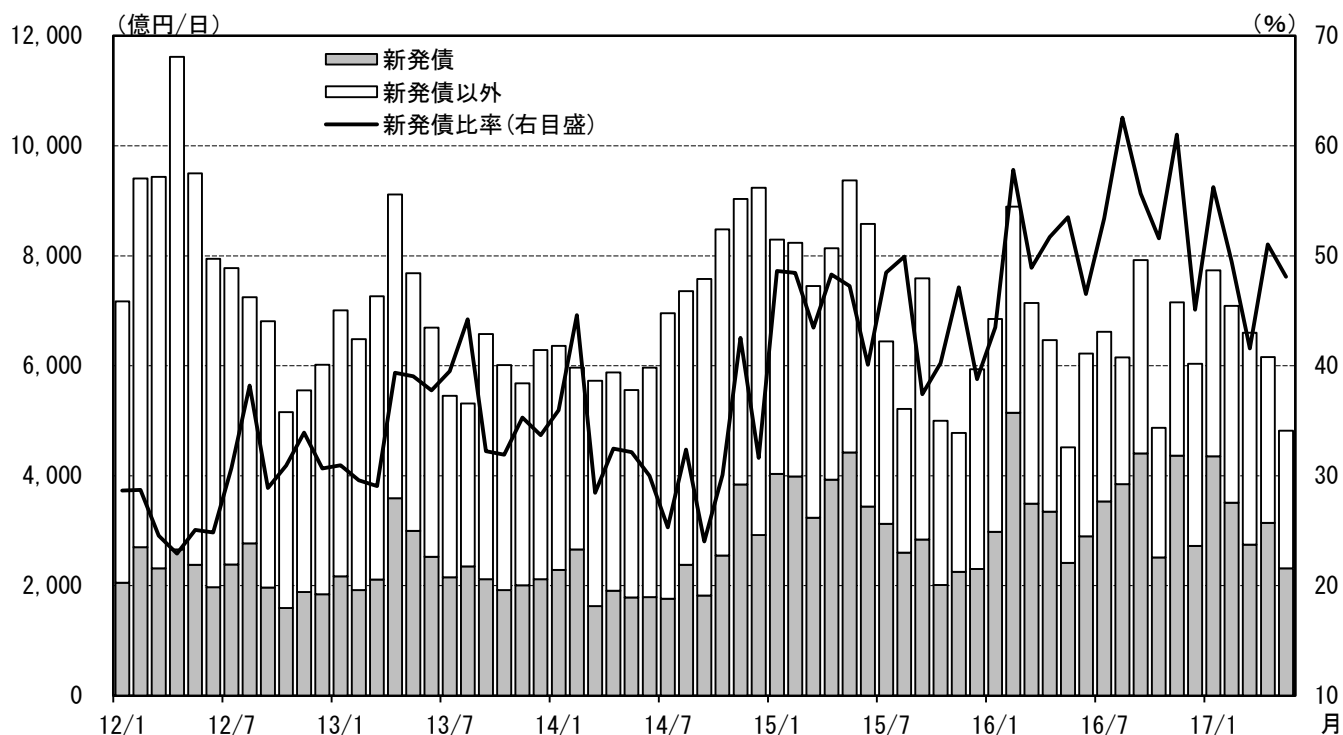


(注) 価格インパクトは各営業日の平均。後方10日移動平均。直近は5月末。

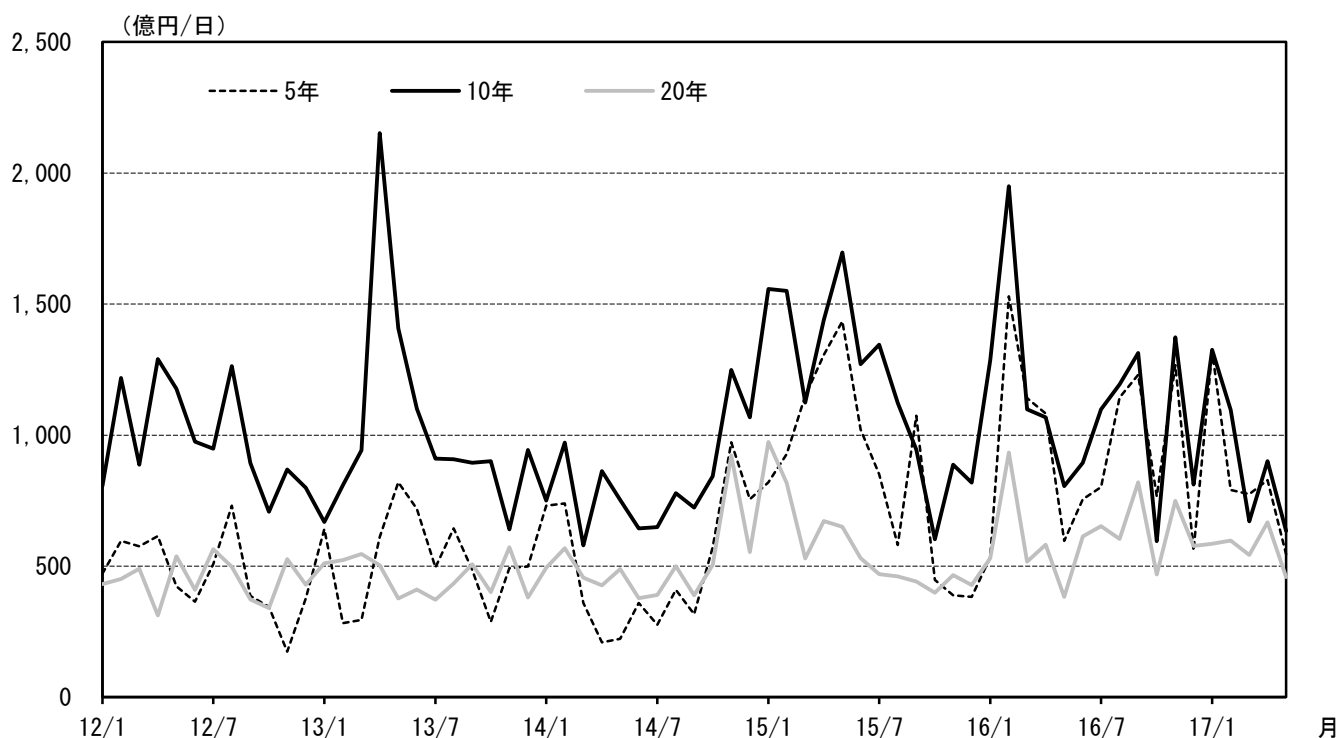
(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」、QUICK、大阪取引所

現物国債のディーラー間取引高 (volume)

(1) デイリー間の国債取引高 (日本相互証券)



(2) 年限別にみたディーラー間の新発債取引高 (日本相互証券)



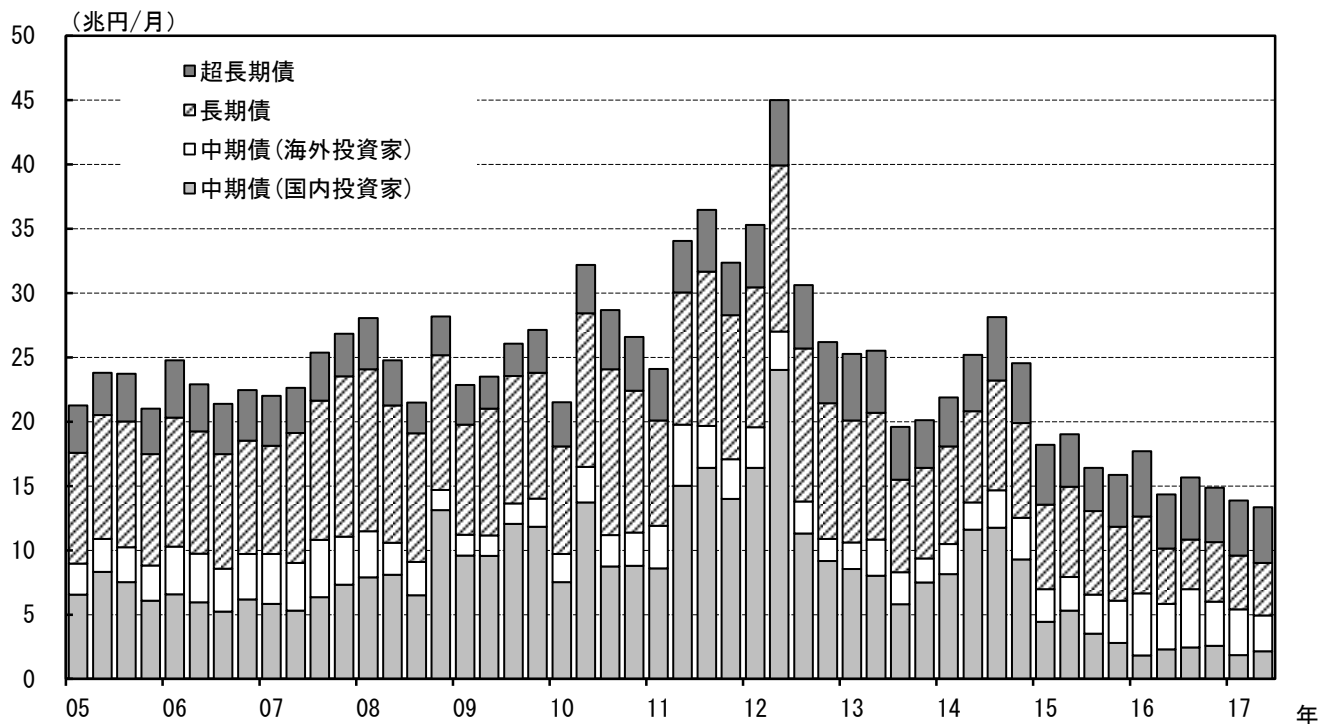
(注) 1. 直近は5月。

2. (1)は、2、5、10、20、30、40年債の1日当たり取引高 (日本相互証券)。

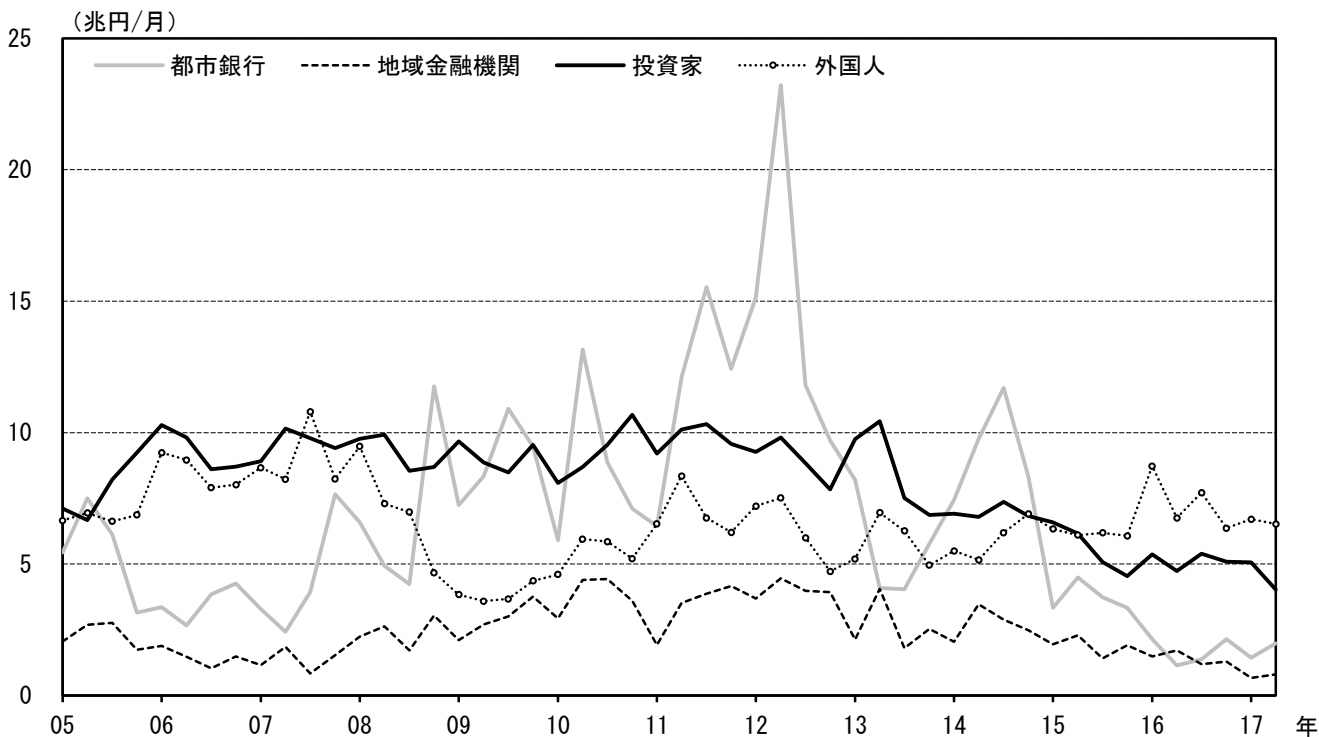
(資料) QUICK

現物国債の投資家等の売買動向 (volume)

(1) ディーラーの対顧客取引高 (顧客の国債グロス買入れ額)



(2) 対顧客取引の内訳 (顧客の国債グロス買入れ額)



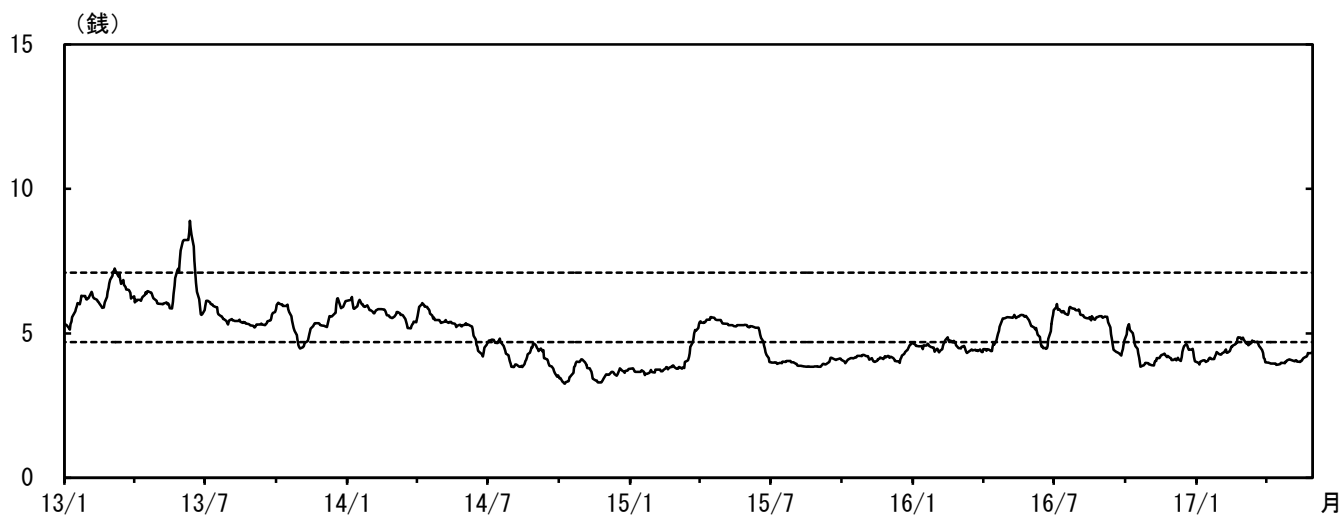
(注) 1. 取引高は国庫短期証券等を除く。直近は4月。

2. 顧客は、都市銀行、地域金融機関、投資家（生保・損保、信託銀行、農林系金融機関、投資信託、官公庁共済組合）、外国人の合計であり、その他の主体（政府、日本銀行、ゆうちょ銀行、かんぽ生命、事業法人、その他金融機関等）を含まない。

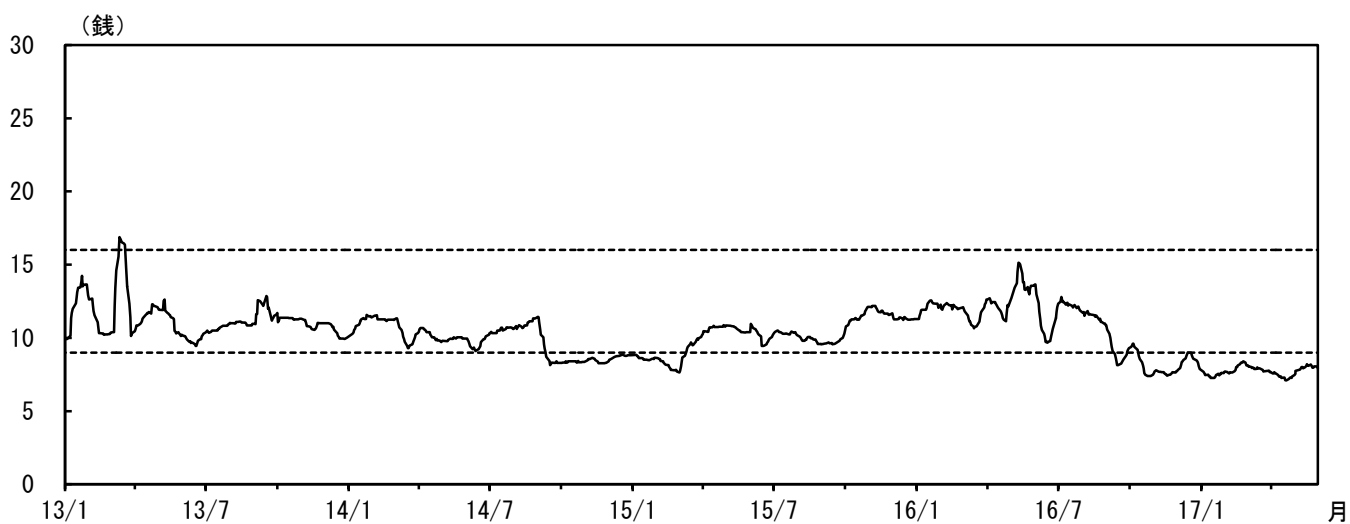
(資料) 日本証券業協会

現物国債のビッド・アスク・スプレッド (tightness)

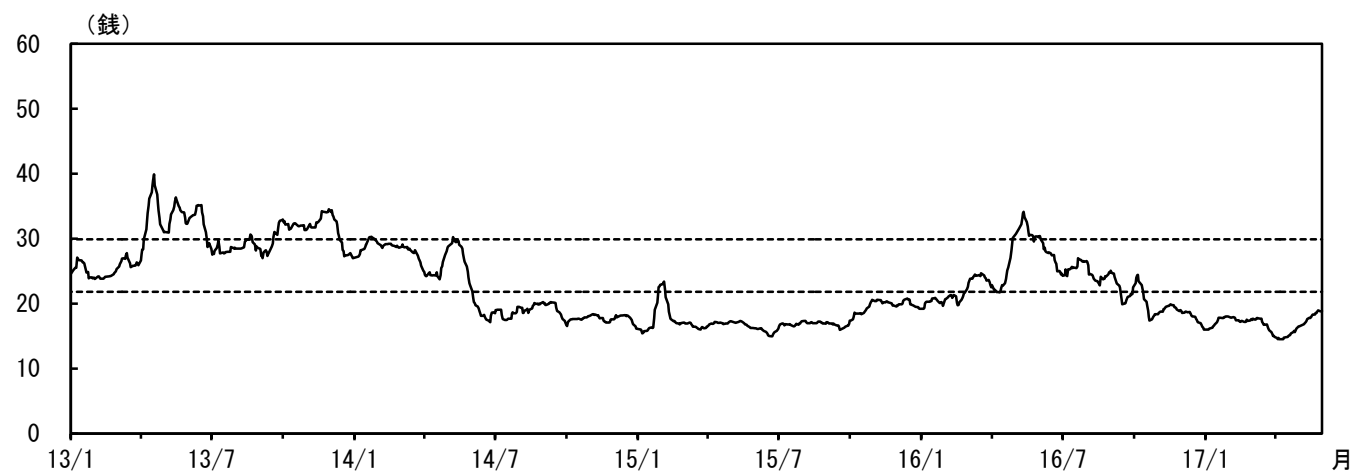
(1) 5年



(2) 10年



(3) 20年



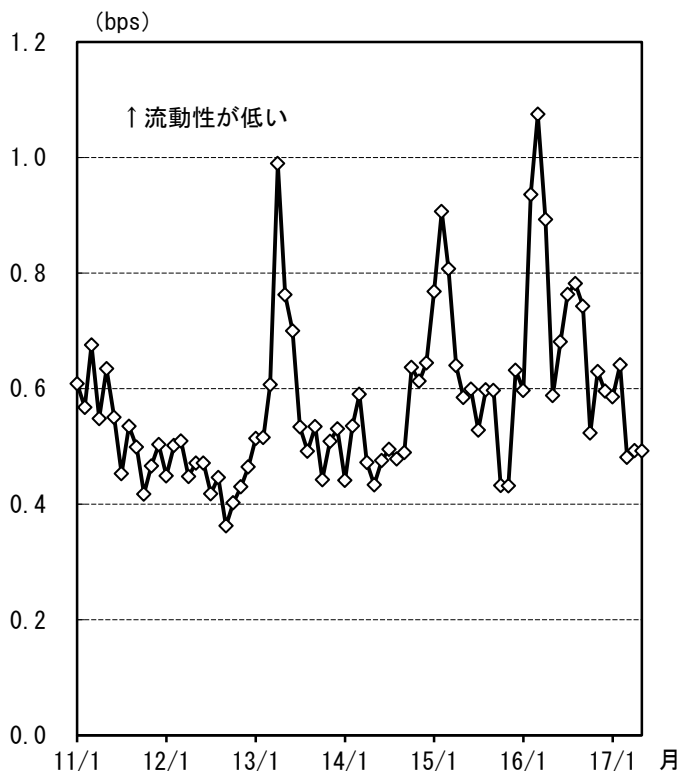
(注) Trade web気配値(15時時点)の後方10日移動平均。点線は、2010/1~2013/3月における第1四分位と第3四分位を示す。直近は5月末。

(資料) トムソン・ロイター

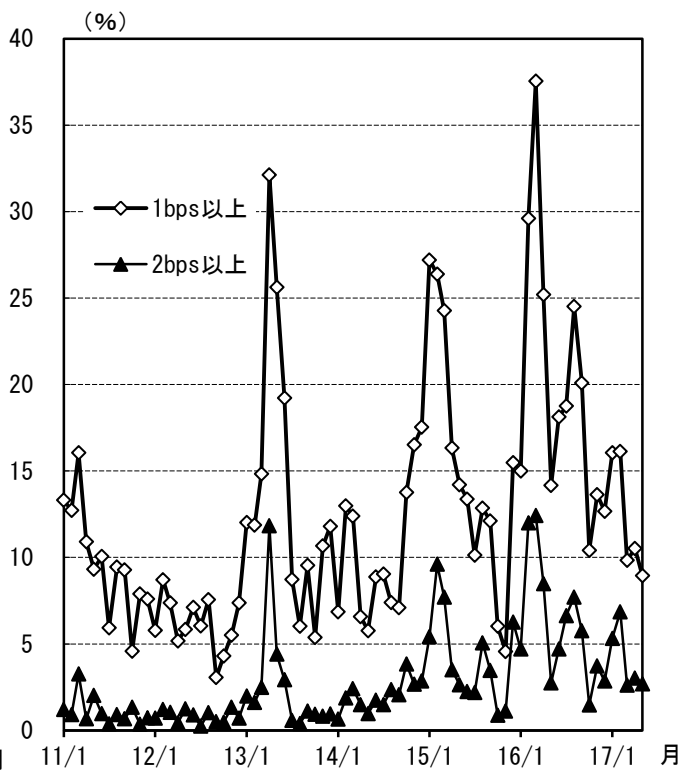
(図表8)

現物国債・対顧客取引の提示レート間スプレッド (depth)

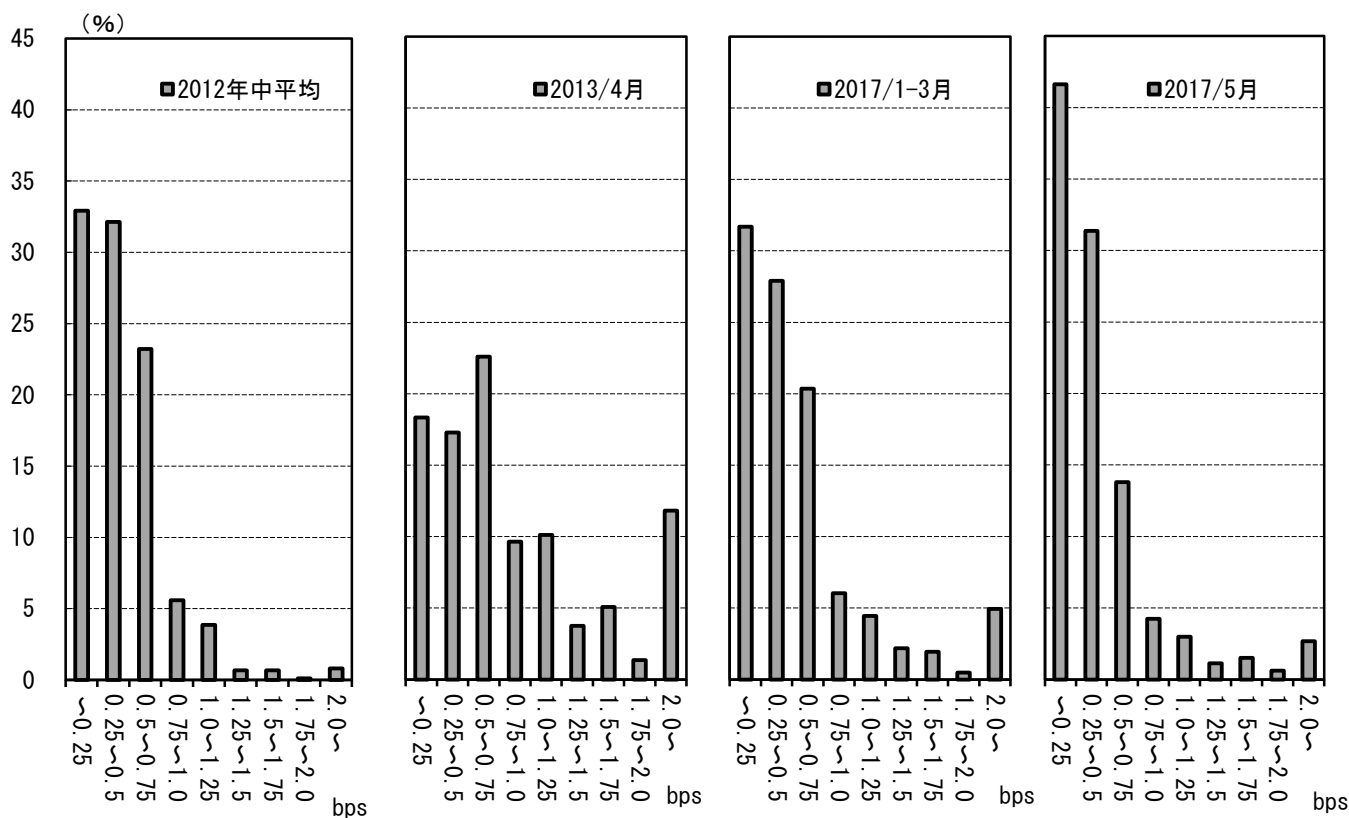
(1) 提示レート間スプレッド (平均)



(2) 同スプレッドが1、2bps超となる確率



(3) ヒストグラム

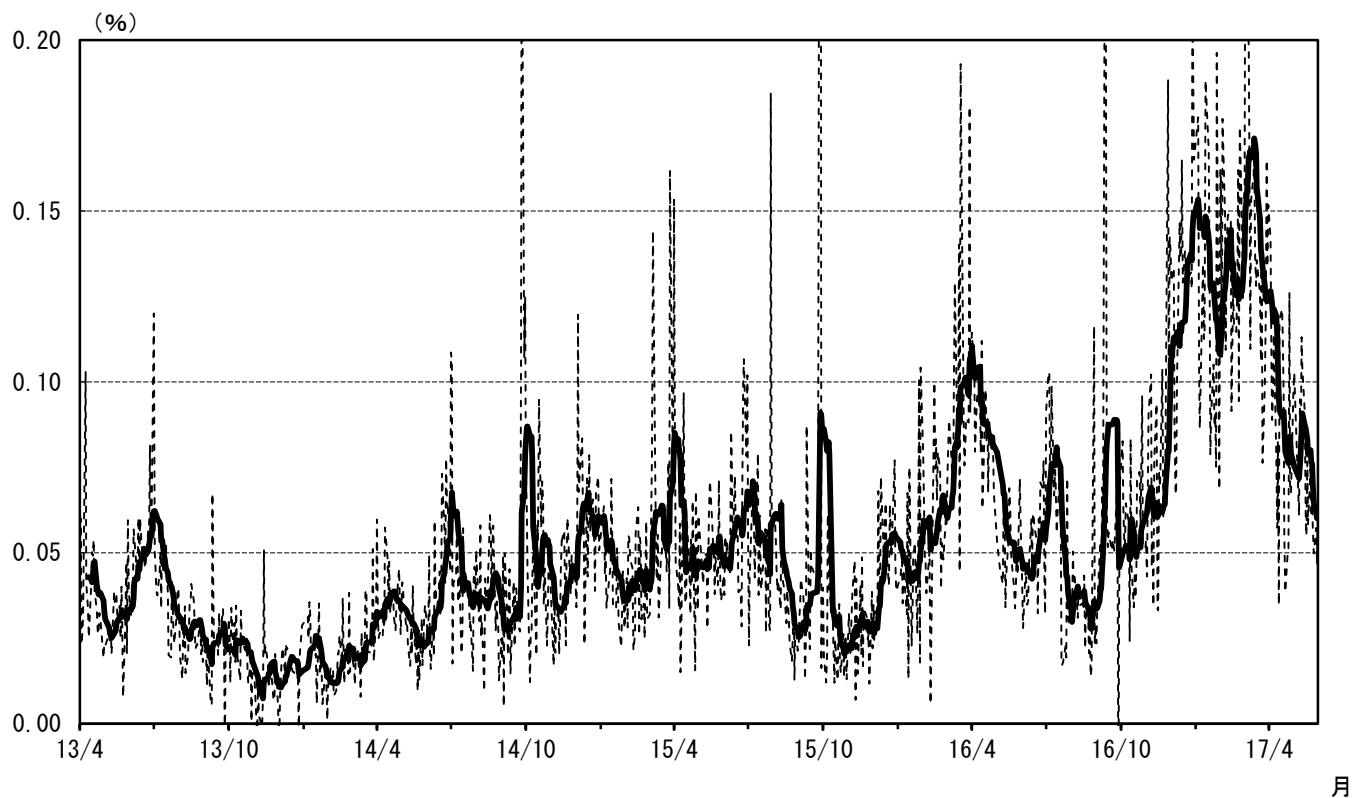


(注) スプレッドが10bpsを超える一部の取引を除外して集計。(1)、(2)の直近は5月。

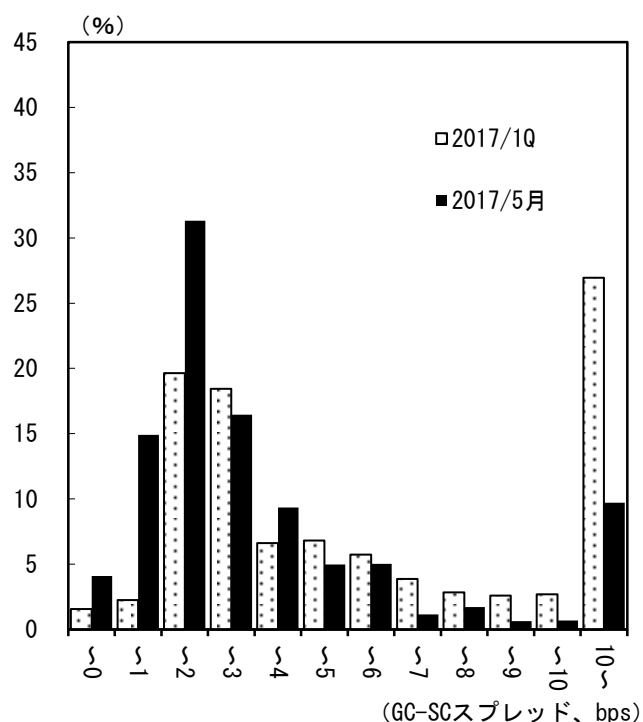
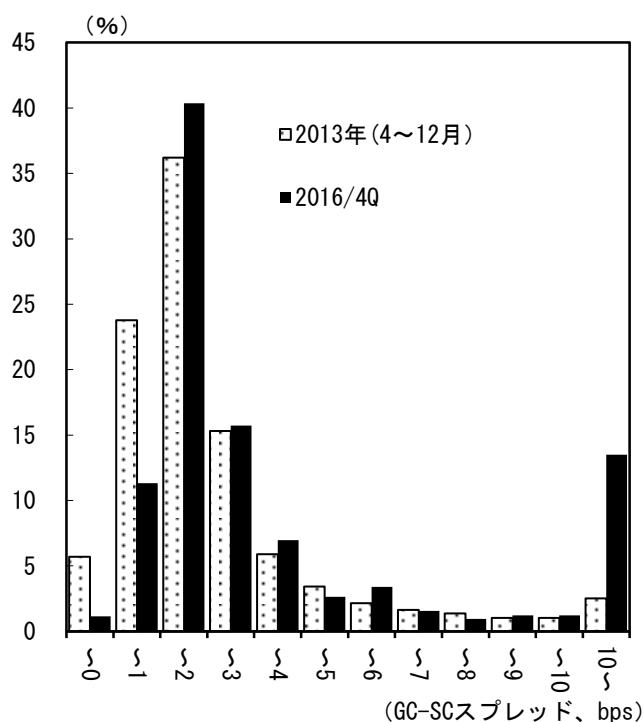
(資料) エンサイドドットコム証券

GC-SCスプレッド

(1) GC-SCスプレッドの推移 (出来高加重平均)



(2) GC-SCスプレッドのヒストグラム

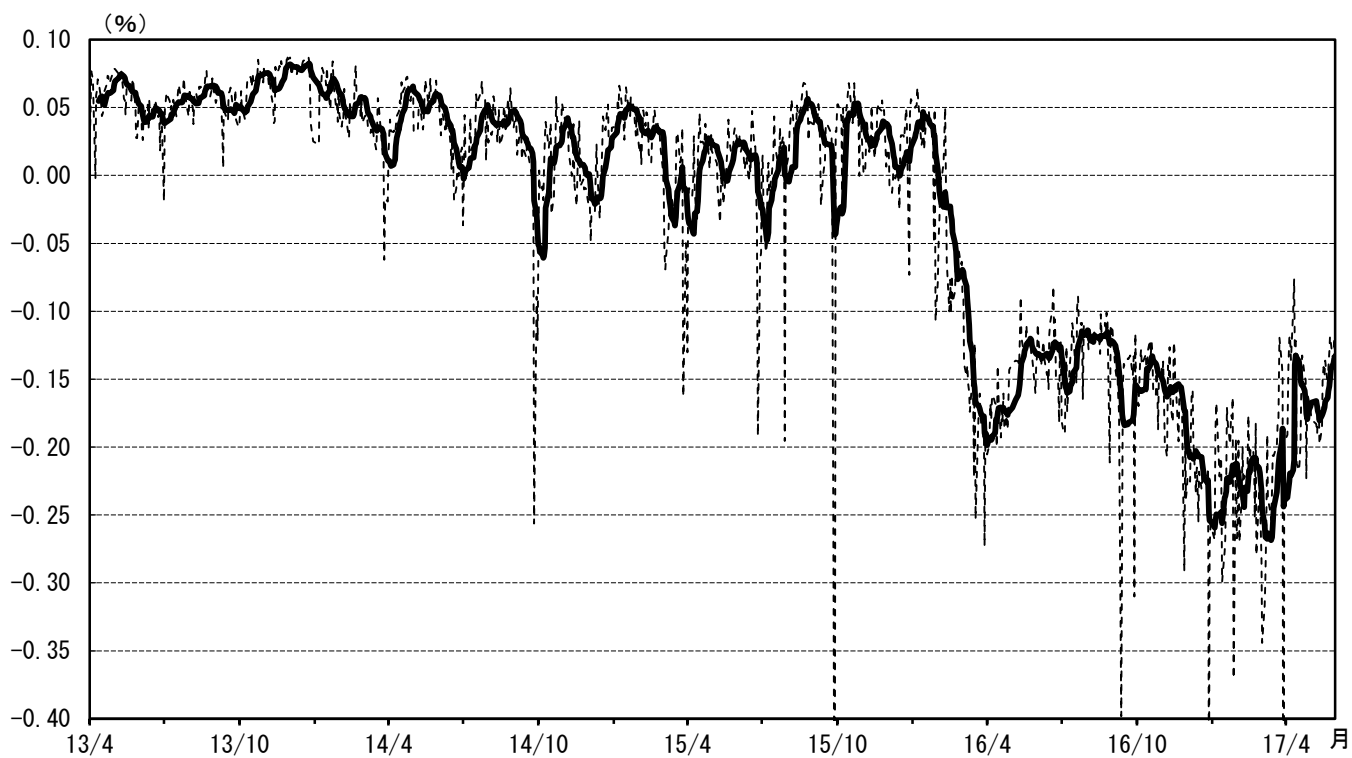


(注) 1. (1) の太線は後方10営業日移動平均。直近は5月末。

2. SCレポレートはS/N。GCレポレートは、東京レポレート (T/N)。GC-SCスプレッドは、決済日を合わせる形で算出。

(資料) ジェイ・ボンド東短証券、日本証券業協会

SCレポレート (S/N)



(注) 銘柄別のSCレポ出来高による加重平均値。直近は5月末。太線は後方10営業日移動平均。

(資料) ジェイ・ボンド東短証券